

## 事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	いしかりそらち 石狩空知	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	しやこたんちよう 積丹町ほか35市町村
事業実施期間	H30 ～ H34 （5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置し、北西部は増毛山地と天塩山地、東部は夕張山系、南部は馬追丘陵に囲まれ、西部は日本海に面し、空知管内から石狩管内にかけて石狩川が縦走し、その流域には広大で肥沃な石狩平野が広がっている。</p> <p>本地区の総面積1,135千haのうち、森林面積は744千ha（森林率66%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は85千ha（人工林率29%）で、カラマツが36%、トドマツが47%を占めており、年齢構成はⅤ～ⅩⅡ年齢級が72%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は810千mで、公道等を含む林内道路密度は9.1m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち22千ha（人工林の26%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、石狩空知地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：24,211 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：4,100 m 林業専用道</p> <p>総事業費：5,712,282千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.06 （総便益（B）= 42,542,156千円、総費用（C）= 10,482,153千円）</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

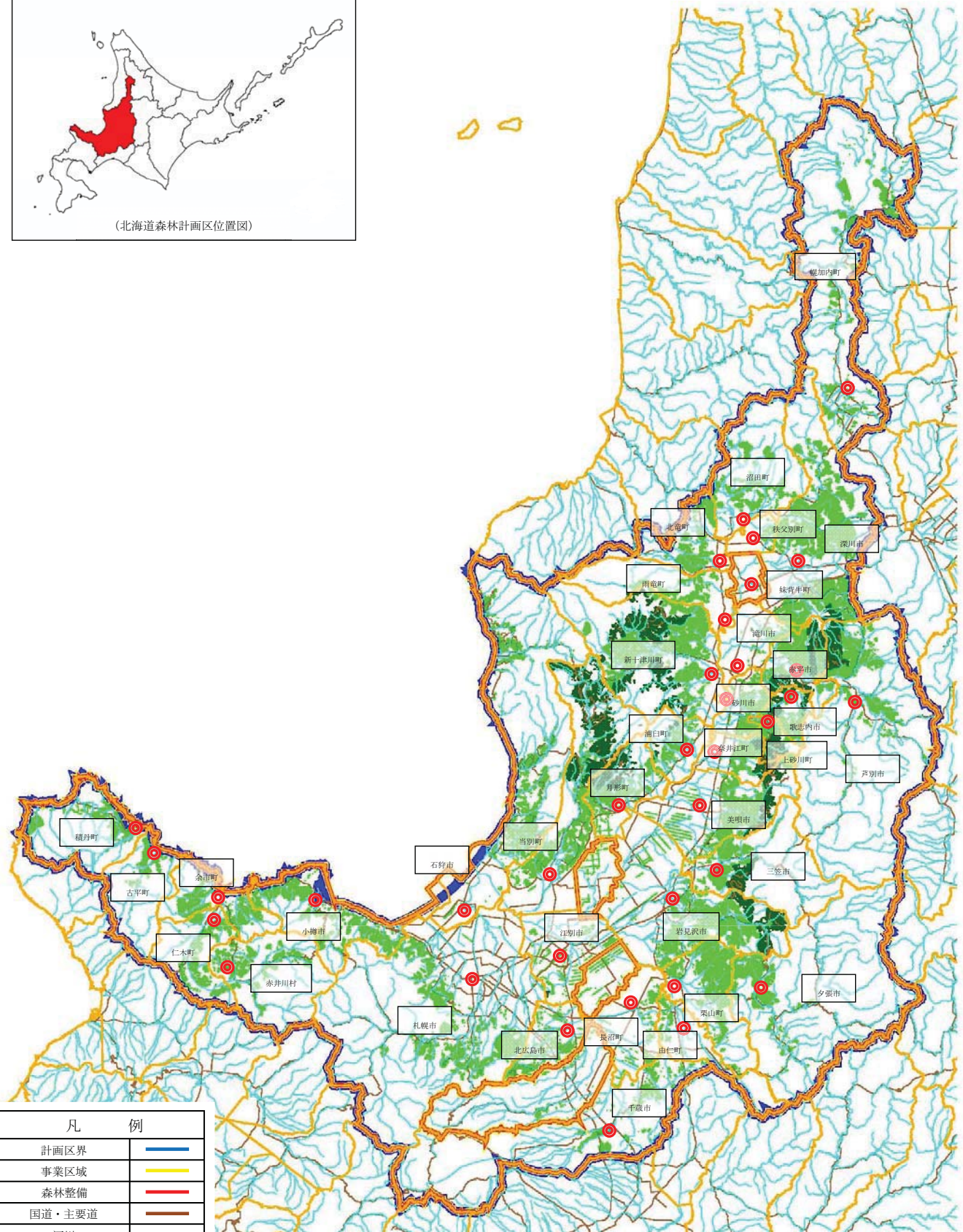
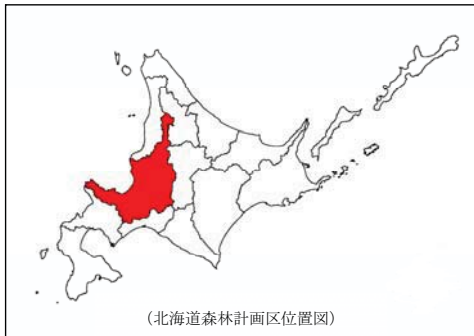
都道府県名: 北海道

地域(地区)名: 石狩<sup>いしかり</sup>空知<sup>そらち</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 <sup>かん</sup> 涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	9,432,552	
	流域貯水便益	2,986,811	
	水質浄化便益	6,486,526	
山地保全便益	土砂流出防止便益	14,986,299	
環境保全便益	炭素固定便益	3,799,064	
木材生産等便益	木材利用増進便益	837	
	木材生産確保・増進便益	4,624,915	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	225,152	
総 便 益 (B)		42,542,156	
総 費 用 (C)		10,482,153	
費用便益比	$B \div C = \frac{42,542,156}{10,482,153} = 4.06$		

# 森林環境保全整備事業 石狩空知地域（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Orange line)
市町村役場所在地	⊙ (Red circle with center dot)
一般民有林 (人工林)	■ (Light green)
道有林 (人工林)	■ (Dark green)